

平成26年9月
30号

（公財）兵庫県園芸･公園協会　花と緑のまちづくりセンター

阪神・淡路大震災から20年を経て

第2回　花緑活動のさらなる広がり

まちづくり有限会社きんもくせい　代表　天川　佳美

大震災の10日後に結成された「阪神大震災復興市民まちづくり支援ネットワーク」の呼びかけでスタートした種まき活動「ガレキに花を咲かせましょう」は、1995年5月から2年間続きました。県外からも思いがけない花やみどりの支援をいただきました。

まず、1995年12月に「阪神緑花再生プロジェクト支援奄美・沖縄委員会」が発足しました。この団体は、沖縄県緑化種苗協同組合青年部を主体としていて、翌年3月末に遠く沖縄の地から“日本列島さくら駅伝”の走者にカンヒザクラや琉球ツツジの苗木、テッポウユリの球根等を託して運んでくださいました。その後も何千もの苗木、球根などをフェリーで届けてくださいました。



“日本列島さくら駅伝”後、フェリーによって運ばれた苗木や球根など

また、愛知県の角田ナーセリーを母体とした花苗生産業者の結成グループは、東海地方で荷を降ろし阪神間までの帰り道に荷台が空になるトラックをボランティアとして募り、数万ポット単位で年2回（春と夏）7年間途切れることなく無償で花苗を送り続けてくださいました。届けられたパンジー、ビオラ、ストックなど色とりどりの花苗が、被災が少なかった三田市の県立人と自然の博物館に運ばれました。それを各地の住民や支援者達が苦心して各地域へ持ち帰り、庭先や街角を彩り、街と住民を活気づけました。



県立人と自然の博物館に運び込まれた花苗

このような県内外からの支援は、住民自らが地域活動に取り組むきっかけをつくり、さらに専門家を奮い立たせました。そのひとつ、研究者やコンサルタント、造園業者、行政担当者などが、一般市民や他のグループとも連携して緑花支援ネットワーク「阪神グリーンネット」 を1996年2月に立ち上げ、復興まちづくりをより進めるために動き出しました。

また、1997年3月、兵庫県では建築家安藤忠雄氏をはじめ、県がバックアップする「ひょうごグリーンネット」が開設され、自宅再建に取り組む人たちへ苗木2本をプレゼントするという企画が始まり、県内の緑化を進める一助となりました。

各地では復興事業や自力再建が続き、元以上のまちへとそれぞれの住民が専門家とともに知恵をだしあい、激しくも長い議論を闘わせながら、自分たちのまちづくりへと1歩を踏み出しました。



㈲きんもくせいの前は近隣住民の受け渡し場としてだけでなく、コミュニティの場でもあった

H26年度「花緑いっぱい運動推進員」研修会報告

これまでに、花緑いっぱい運動推進員研修会を県内８ヵ所で開催し、推進員だけでなく、地域の花緑団体や緑化活動に関心のある方々にも参加していただきました。

研修会では、県の花緑施策や、推進員に必要な緑化技術、花緑団体の運営方法などについて専門家による講義を受講してもらいました。今後、神戸と但馬県民局でも実施します。



県民局名	実施日	実施場所	講師	研修テーマ	人数
東播磨	5/28	加古川総合庁舎	(有)確実園 前野　義博　氏	露地バラの年間管理ポイント	25
阪神南	6/3	宝塚総合庁舎	ひょうごガーデンマイスター 辻井　玲子　氏	花緑団体育成の仕方 花壇維持管理についての事例発表	33
阪神北	6/9	宝塚総合庁舎	ひょうごガーデンマイスター 粟野　喜久美　氏	花緑団体育成の仕方 花壇維持管理についての事例発表	35
中播磨	7/22	姫路総合庁舎	花緑センター緑の相談所長 若松　康史	梅雨明けからの花壇管理	16
淡路	7/24	淡路水産センター	淡路景観園芸学校景観園芸専門員 札埜　高志　氏	ボトルプランツを自作しよう！	20
西播磨	7/28	相生市民会館	(有)確実園 前野　義博　氏	露地バラの年間管理ポイント	34
北播磨	8/1	社総合庁舎	(株)エクステリア風雅舎 加地　一雅　氏	宿根草を主とした四季を通じて楽しめる花壇づくり	16
丹波	8/26	丹波並木道中央公園	(株)エクステリア風雅舎 加地　一雅　氏	新しい草花の種類紹介と、土壌改良を中心とした花壇の維持管理について	16



花緑団体の現状報告だけでなく、これからの活動の問題点などをディスカッションしました。(阪神南)



初めての体験は大人でも楽しい。
ボトルプランツ(ゼリーのような滅菌培地)で育てる苗の除菌作業のひとコマ。
(淡路)



宿根草の種類、特徴を把握したうえで、季節に合わせた花壇づくりのコツを学びました。どの季節に見栄えを良くするかを決めるのがポイントとのことでした。　(北播磨)

花緑いっぱい運動推進員の募集

花と緑のまちづくりに一定の技術や知識をお持ちで、地域における花緑活動の**ボランティアリーダー**として実践活動や人材育成に取り組む「花緑いっぱい運動推進員」を募集しています。

対象者

＊兵庫県立淡路景観園芸学校まちづくりガーデナー本科コース修了者
＊次のような資格をお持ちの方
　・グリーンアドバイザー　・園芸装飾技能士
　・造園技能士
＊市町等が行っている花と緑を活かしたまちづくり活動等の講座を概ね50時間以上受講し認定を受けた方などで、地域において指導活動のできる方
＊花と緑に関して地域で2～3年以上にわたって顕著な活動を行っており、上記の方と同等以上であると花と緑のまちづくりセンターが認めた方

活動内容

★緑化活動に取り組もうとするグループの育成
★緑化活動への技術的なアドバイス(設計、整備、維持管理等)
★緑化活動グループの交流促進　など

なお、推進員にはボランティア保険に加入するとともに、月1,000円の活動費を助成します。

花緑いっぱい　検索

花緑団体の紹介

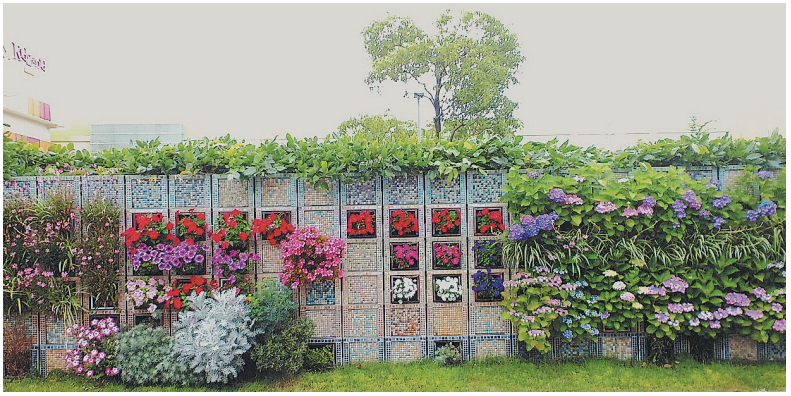
ララファーム（西宮市）

代表　中尾　吉治

独自に開発した世界初の花と野菜との垂直菜園花壇（タテニワ菜園花壇）で都市の環境緑化に貢献

○ 発足の経緯

ララファームは地元住民、企業、周辺大学及び教育関係機関と連携した緑化ボランティアグループとして、2008年に発足しました。メンバーは、事務局を置いている大型ショッピングモール「ららぽーと甲子園」スタッフ10名とともに活動しています。



タイルの生け垣風タテニワ菜園花壇



ジャガイモの収穫



タテニワ菜園花壇の手入れをする会員

○ 活動内容

「ららぽーと甲子園」の沿道と施設内に、当グループが独自開発した、タテニワ菜園花壇を７基設置し、来訪者に喜ばれています。

タテニワ菜園花壇のメリットは、タテ空間を利用して僅かなスペースに設置出来ること、廃材やリサイクル部材を活用して、市民自らがDIYでどんな場所にでも簡単に設置出来ること、市民が楽しみながら、花や野菜などほとんどの植物が同時にできることです。そのため都市での環境緑化に貢献するとともに、園芸療法や小学校の教育現場にも利用されています。

○ 受賞及び出展歴

2013年第15回人間サイズのまちづくり賞まちづくり活動部門兵庫県知事賞受賞。

2012、2013年　「西宮フラワーフェスティバル」で連続して市長賞、2014年には銀賞を受賞。

また、2013年のひょうごまちなみガーデンショーでは、明石公園入口に、全てリサイクル資材で作成したデモンストレーションガーデン「野菜と花と緑の垂直菜園ガーデン」を出展しました。

○ 今後の展開

今後は、タテニワ菜園花壇をFacebookより世界に発信し、省スペース型都市緑化の普及活動をしていきます。現在68カ国　1300名の方と繋がっています。

yoshiharu　nakao



2013ひょうごまちなみガーデンショーでのデモンストレーションガーデン　→

花と緑の専門家バンク

専門家と一緒に、花と緑のまちづくりの悩みを解決しませんか!!

■　事業概要

「花と緑の専門家バンク」は、花と緑のまちづくりに取り組む花緑グループの活動を支援するため、都市緑化や景観園芸分野の専門家、造園や花と緑に関する専門的な知識・技術を有する専門家を派遣する制度です。

事業の概要は以下のとおりです。詳しくはお住まいの県民局駐在緑のパトロール隊員にお尋ねください。

花と緑のまちづくり活動をより専門的に深めたい方々の積極的なご利用をお待ちしています。



1　対象内容

- 緑化施設の維持管理及び植え替え等の診断及び技術指導
- 花と緑のまちづくりに関すること
- 緑化施設整備計画の策定や設計に関する助言
- 花と緑のまちづくりに関わるテーマの講演会・シンポジウム等の講師

2　対象団体

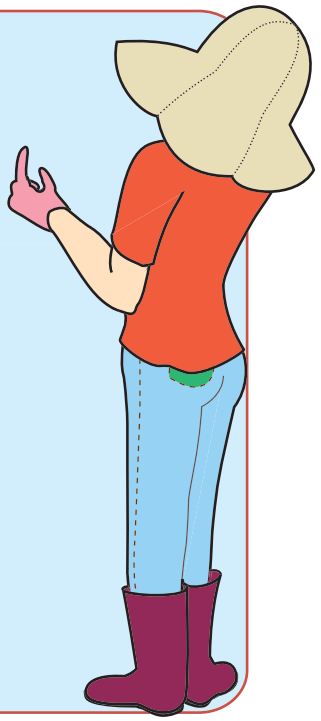
- 県民まちなみ緑化事業を実施または計画している団体
- 花と緑のまちづくりを実施または計画している団体

3　費用

- 講師の費用は、「花と緑の専門家バンク」が負担します。

4　相談・申込

- 実施予定時期1ヶ月前までにお住まいの（右記表参照）地域の県土木事務所駐在緑のパトロール隊員に相談してください。



校園庭の芝生化

学校や公園などの芝生の施工・維持管理までを、芝生の専門家より講習・指導。



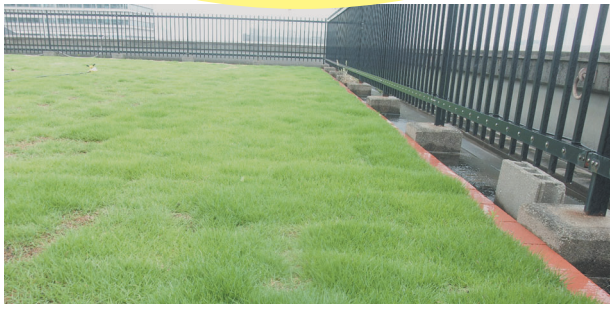
樹木の管理

古木や病気の樹木の維持管理・剪定の講習・指導



屋上緑化

屋上緑化の専門家によるデザインや季節ごとの維持管理の講習・指導



花壇のデザイン

草花の専門家による、地域の季節に合った植栽デザインや維持管理の講習・指導



お問い合わせは、こちら

実施箇所ごとの問い合わせ先にご連絡ください。

実施箇所	問い合わせ先	郵便番号	所在地	電話番号
神戸市	県土整備部まちづくり局 都市政策課緑化政策班	650-8567	神戸市中央区下山手通 5－10－1	078(362)3563
尼崎市、西宮市、芦屋市、 伊丹市、宝塚市、川西市、 三田市、猪名川町	宝塚土木事務所 まちづくり建築課	665-8567	宝塚市旭町2－4－5	0797(83)3191
明石市、加古川市、高砂市、 稲美町、播磨町	加古川土木事務所 まちづくり建築課	675-8566	加古川市加古川町寺家町 天神木97－1	079(421)9402
西脇市、三木市、小野市、 加西市、加東市、多可町	加東土木事務所 まちづくり建築課	673-1431	加東市社字西柿1075－2	0795(42)6176
姫路市、相生市、たつの市、 赤穂市、宍粟市、神河町、 市川町、福崎町、太子町、 上郡町、佐用町	姫路土木事務所 まちづくり建築課	670-0947	姫路市北条1－98	079(281)9313
豊岡市、養父市、朝来市、 香美町、新温泉町	豊岡土木事務所 まちづくり建築第1課	668-3309	豊岡市幸町7－11	0796(26)3757
篠山市、丹波市	丹波土木事務所 まちづくり建築課	669-3390	丹波市柏原町柏原688	0795(73)3863
洲本市、南あわじ市、 淡路市	洲本土木事務所 まちづくり建築課	656-0021	洲本市塩屋2－4－5	0799(26)3213

グリーンメッセージ

2014まちなみガーデンショーin明石

～花と緑で元気な明日をつくる～開催間近!

花と緑のまちづくりセンター長
石原　憲一郎
（兵庫県参与・淡路花博2015花みどりフェアチーフアドバイザー）

今年で通算22回目となる「ひょうごまちなみガーデンショー in 明石」は、東の日比谷公園ガーデニングショーと並び、西日本を代表する伝統的なガーデンショーに成長しました。



ガーデンショーのモニュメントガーデンで飾られたＪＲ明石駅構内での開会式は、明石フィルハーモニー交響楽団（通称たこフィル）の弦楽四重奏で始まる、全国でも珍しいスタイルが評判です。

まちなみガーデンショーは、文字通り兵庫県立明石公園や明石市街地を会場に、多くの県民の皆さんが参加し、腕によりをかけたガーデンや寄せ植え、ハンギングバスケットなどで公園やまちを彩り、安らぎと感動、活力を与え、さらに、花と緑の交流の輪が広がる秋の一大祭典です。

多くのガーデナーの出展作品はもちろん、プロのガーデナーや企業によるデモンストレーションガーデン、美しいふるさと兵庫を語り合う花と緑のまちづくりフォーラム、バラエティーに富む体験教室、県下11校の農業高校生徒によるアグリハイスクールガーデンと学校で作った農作物等の物産販売、公園内や明石市のまちなかを巡るスタンプラリー、明石焼きなど地元グルメでにぎわう食のイベント、さらには、会場内外で自分やグループの夢を叶えることができる公募型「夢プラン」は毎年人気を博しており、明石市の歴史・文化クイズや各種クラフト、エコ講座など、その内容は多彩で年々充実してきています。

ガーデン（garden）とは、古代ヘブライ語でgan（囲われた）＋eden（快楽）で構成された言葉で、安全で快適な空間という意味だそうです。明石公園などの都市公園は、全て「garden」と言えるわけで、またガーデニングは、必ずしも個人の庭で楽しむだけではなく、公園で遊び楽しむことも意味しています。明石公園だけでなく明石市のまちなかもガーデンとしてとらえることにより、明石市中心部がシンガポールの国づくりのコンセプトである「city in the garden」を目指すきっかけになればいいと考えています。



2014 ひょうごまちなみガーデンショー in 明石

開 催 期 間：９月27日（土）～10月５日(日) 10:00～16:00（最終日15:00）
会　　場：明石公園、明石駅周辺、明石銀座通り周辺、明石商工会議所　明石市立花と緑の学習園、天文科学館から中崎遊園地までの南北通り
開催テーマ：花と緑で元気な明日をつくる
主　催　等：まちなみガーデンショー実行委員会
主 な 内 容：ガーデンコンペ、デモンストレーションガーデン、アグリハイスクールガーデン、出展作品ガイドツアー、夢プラン、ガーデンコンサート、花と緑の体験教室、園芸・造園相談など

主催・問合せ先：ひょうごまちなみガーデンショー実行委員会
TEL：078－918－2405

ほっと

●●● 相談員ニュース ●●●

冬に楽しむ青菜　～コマツナ～

緑の相談員
小椋　美由紀

落語では、暑い季節に「青菜」という演目がよくかけられます。暑い暑いといってももう9月、畑では秋冬野菜の準備が始まろうとしています。そこで今回は、落語の「青菜」に出てくる青菜の栽培について紹介します。

落語の「青菜」は、あるお屋敷で仕事を終えた植木屋が主人に、鯉の洗いや冷えた柳影というお酒などをふるまわれる場面から始まります。初めてのワサビにてんやわんやする植木屋に、主人が口直しに青菜を勧めます。台所の奥さんに伝えると、「鞍馬山から牛若丸がいでまして、その名を九郎判官（くろうほうがん）」→「食ろう」ほうがん→「食って無くなった」という隠語の返事。それに応えて「ほう、義経、義経」→「よしつね」→「よし」つね→「よしよし、わかった」としゃれで返した主人。この粋なやり取りにいたく感心した植木屋が、長屋の我が家でかみさん相手に試してみようとしましたが、さてさて…。

この落語に出てくる青菜の種類は諸説ありますが、今回はコマツナを取り上げたいと思います。

コマツナは春まきも可能ですが、秋まきは、生育するにつれて気温が下がるため、葉肉は厚く茎は太めに育ちます。寒さで一層甘味が強くなり、味も良く、お勧めです。プランターや植木鉢でも容易に栽培ができます。

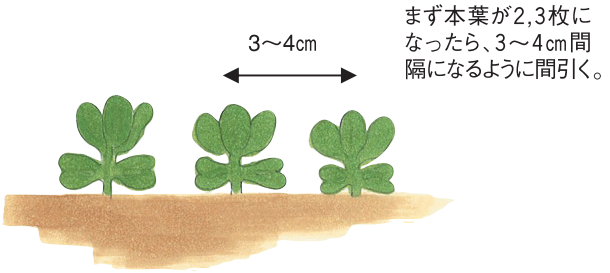


＜育て方＞

①**土づくり**　タネまきの2週間以上前に苦土石灰を施し、堆肥と化成肥料、油粕などをまいてよく耕します。

②**タネまき**　9月中旬以降が良いでしょう。11月頃まで時期をずらしながらまけば春まで楽しめます。発芽率が良いので、まきすぎに注意してください。

③**間引き**　早いうちから葉が触れ合う箇所を間引きながら順次収穫していきます。**青菜栽培の醍醐味は、間引き菜を楽しめること**で、小さいうちはサラダでも味わえます。間引きすぎて「その名を九郎判官」ってことにならないようにしましょう。



寒さには強いのですが霜にあたると傷むので、寒冷紗を用意しておくと、防虫と防霜に役立ちます。冬越しした株は春になって花を咲かせますが、菜の花のように摘んで食べることが出来ます。

コマツナは、東京の小松川で名づけられたと言われています。青菜には地名が付いたものも多く、各地で伝統野菜としても大切に育てられています。今年の冬は、その地方の気候や風土で育った特色のある青菜を楽しんでみてください。


花を付けたコマツナ

ひょうごローズクラブ総会・記念講演会報告



6月28日(土)、兵庫県民会館に279名の会員らが出席し開催しました。
総会議案は原案通り承認されました。今年度の記念講演会は、NHK「趣味の園芸」ナビゲーターで人気上昇中の三上真史氏と、関西バラ界の生き字引、藤岡友宏氏をお招きしました。
三上さんには、お気に入りのブルーローズのことやガーデニングライフのことを、藤岡さんには、関西を中心にした日本のバラ栽培史について話していただきました。



藤岡友宏氏



三上真史氏





三上さんとのじゃんけんゲームで、ブルーローズがプレゼントされました

これからのイベント情報

研修旅行	10/27(月)	「なばなの里」(三重県桑名市)
各種講習会	11/ 5(水)	「バラを生活(くらし)に生かすテクニック」神戸市立須磨離宮公園
	11/28(金)	「プリザーブドフラワーでクリスマス飾り作り」花と緑のまちづくりセンター
	2月中旬	「バラにまつわるお話とランチ」淡路夢舞台
	3月中旬	「バラのアロマでリフレッシュ」場所未定

✿他にも各種剪定講習会等を開催。詳細は、ひょうごローズクラブ事務局まで (TEL 078−918−2405)



フルートの美しいデュオ

園芸相談コーナーのご案内

花と緑のまちづくりセンターでは、花と緑あふれる豊かな生活環境づくりを応援します。お気軽にご相談ください。

■相 談 日：火曜日を除く毎日（年末年始はお休みです。）
■相談時間：10:00-12:00　13:00-16:00
■相談方法：下記の方法でご相談ください。
1 お会いしてお話しながら
(花と緑のまちづくりセンターにお越しください。)
2 TEL 078-918-2405
3 FAX 078-919-5186
4 メール info_midori@hyogopark.com



花と緑のまちづくりセンターだより　30号

●平成26年9月15日発行(年4回発行)
●編集発行　公益財団法人兵庫県園芸・公園協会花と緑のまちづくりセンター長　石原　憲一郎
〒673-0847　明石市明石公園1-27　花と緑のまちづくりセンター
TEL：078(918)2405　FAX：078(919)5186　Eメール：info_midori@hyogopark.com